

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | 綾瀬市立もみの木園 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 2月 9日 | | ～ 令和8年 3月 3日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 24名 | (回答者数) 23名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 9日 | | ～ 令和8年 3月 3日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 15名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 26日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 公立保育園との交流や情報交換がスムーズ。 経験年数が高い職員が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 写真や絵カードを使用して、視覚的に一日の流れがわかりやすいように提示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 個別対応の必要なお子さんに臨機応変に対応するため、クールダウンスペースや職員配置など園全体で協力体制を整えている。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉課・教育委員会・こども家庭センター等との連携が良い。 | <ul style="list-style-type: none"> クラスでの療育、ホールでの集団遊び、他クラスとの交流、散歩、外遊び等内容に変化を持たせている。 | <ul style="list-style-type: none"> グループの組み合わせによって不安定な対人関係を取り除き、安心した環境をつくっている。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーとの研修会や心理士・言語聴覚士・PTとのカンファレンス等で専門性を高められている。 | <ul style="list-style-type: none"> 母子登園日や連絡帳、日々の伝言で保護者との情報交換をし、円滑な関係を築いている。 | <ul style="list-style-type: none"> 栄養士面接、園長面接等個別に丁寧に対応し支援している。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 仮設園舎で不便な点があった。 仮設園舎の2年間は定員を10名減らして対応していた。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍より民生委員等外部の来園が控えめになっていたが、今後外部評価を含めて連携していけると良い。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和8年より指定管理になるためしっかりと引き継いでいき、スムーズな運営に協力していく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |